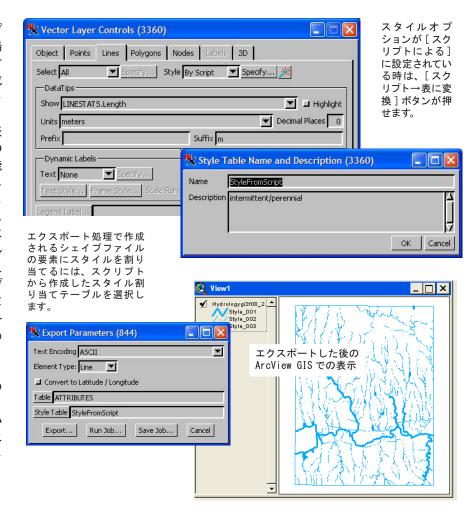
スクリプトで作成したスタイルを シェイプファイルの *. av | ファイルにエクスポートする

ベクタの描写スタイルがスクリプ トによって割り当てられている場 合、マウスボタンをワンクリックす るだけでスタイル割り当て表を作成 することができます。[スクリプト →表に変換]ボタンが〈ベクタレイ ヤコントロール〉ウィンドウ内に表 示されます(表示ウィンドウのどの プロセスにおいても上記の変換機能 が使えます)。ボタンをクリックし て作成される表は、ベクタオブジェ クトをシェイプファイルヘエクス ポートする際、選択してスタイルに 使用することができます。スタイル は同じ名前の *. av | ファイルへ変え られ、他のソフトウェアでシェイプ ファイルを表示する際に使用できま す。作成した表は、KML ヘエクスポー トする際にスタイルを提供するため に選択できます。

TNT 製品はシェイプファイルの *. avl ファイルよりも多くのスタイリングオプションをサポートしています。例えば、*. avl ファイルにエクスポートするポリゴンのビットマップパターンは、サイズ(8×8の繰り返しパターン)と色の数(2色)が限られています。またシェイプファイルの *. avl ファイルはライ



ンの中心からのオフセットを含んだラインパターン要素をサポートしていません。KML はポリゴンのベタ塗りのみサポートします (パターン塗りはサポートしていません)。シェイプファイルもしくは KML ファイルにエクスポートするつもりでベクタオブジェクトにスタイルを割り当てる際には、この制限を覚えておく必要があります。

(注)最近の*.lyrファイルはバイナリーファイルであり、仕様に関する情報が未公開のため、サポートの予定はありません。

